

東海道新幹線車内ワゴン終了！

10月末日で終了これでいいのか？

お客様と乗務員の命を守れ！

異常気象により、台風、大雨、土砂崩れ等より新幹線の運行に被害が出ています。自然災害や運行の操配の問題もあり、長時間新幹線車内に閉じ込められる状況があります。しかも、今年の夏は大変な猛暑が長期間続きました。そのような車中に、長時間閉じ込められた場合の水・食事の確保、体調不良の方の対応にパーサーや車掌を減らして、迅速にお客様の対応ができるのでしょうか？

外国から観光に来られるお客様は、日本の新幹線の安全性と正確な運行に驚いていますが。しかし、災害や異常時等による避難対応や車内対応はどうでしょうか？乗務員は不安です！

新幹線車内のサービス低下！

なぜ？多くのパーサーが離職（労働条件が悪い）、車内ワゴン終了も車掌を3人から2人乗務にするのも、リニア財源確保のための経費削減、車掌を3人から2人に削減しても要員不足（年休裁判地裁判決で要員不足を認定）車内の安全とサービスの低下につながります。

車内のワゴンサービスの提供や車内秩序等にはパーサーが必要です。特にお客様には、快適な旅をするのにもワゴンが必要なのです。

長期にわたって、半永久的にリニア建設負債、近隣住民への保証、今後は莫大な整備費の確保が続くのではないかと危惧する。

大動脈輸送確保の名のリニアは、ゼネコン・一部の者達の利益のためか、上げた拳を降ろせなくなっている状況ではないだろうか？

大地震等の輸送の確保のためのリニアと言われているようだが、地震によって一番最初に破壊されてしまうのではないだろうか？

リニア建設に多額の税金が使われ、国民にその負債を追わせることになるのではないか。国民と社員のためにならないリニアは、今止めたほうがいいのか。

**莫大なりニア建設費用のために、人件費削減の要員不足
安全・サービス低下は重大事故の始まりである！**